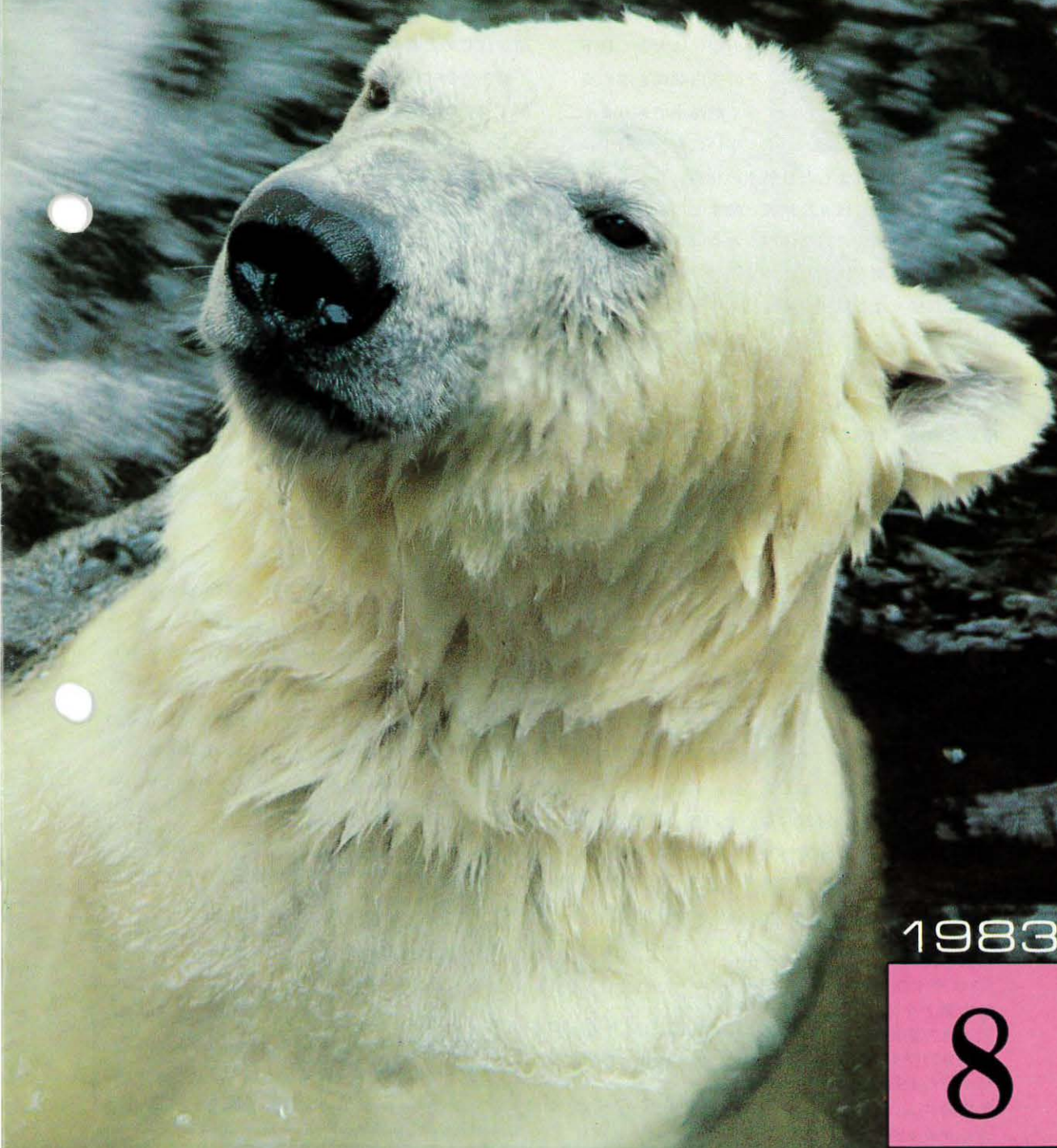


なきごえ



1983

8

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私



福岡 順三

本年4月に8年ぶりで懐しい動物園に園長として戻ってまいりました。僅かの間と思いましたが、園内外の情勢の変化は大きく目下その空白期間を埋めるべく勉強中であります。

幸いにも、5月末に

高松市で開催されました日動水の総会におきまして先輩諸先生方から種々な情報と励ましの言葉を戴くとともに、協議会の討議内容が現在国内はもとより世界的に動物園が直面している問題点が大きく取りあげられ様々をご意見を拝聴出来ましたことは新参者にとりましては、又とない勉強の機会になりました。

神戸で生まれ、神戸で育った若者が初めて動物に接したのは、昭和23年宮崎の農学部に入ってからです。牛や馬はもとより豚やめん羊も初対面でしたが卒業時にはいっばしの畜産人に成長しておりました。

昭和28年神戸市に入り専ら酪農と肉牛の振興につとめておりましたが、とくに六甲山上での牧場建設には青春の情熱を注ぎました。10年余の間、山上の自然の中で乳牛・乗馬・めん羊と一緒に過した生活は牧歌的でもあり自然観察の好機でもありました。

朝もやの中からカッコウの鳴声が湧き出るように聞こえ、冬の凍てついた夜には乾いたキツネの声、春から初夏には新緑の中での小鳥の合唱など四季おりに楽しませてくれました。

多くの野生動物の仲間になったのは、昭和46年当園に転任になった時からです。当時は高度経済成長

なきごえ8月号もくじ

動物と私	2
“クロサイの赤ちゃん誕生”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
天王寺の動物たち②	6・7
天王寺の歴史をさぐる③	8・9
私が望む動物園	10
動物園ニュース	11

の頂点で列島改造論も飛出し自然環境の破壊が当然のような世情でありましたが、反面には急速成長のヒズミが各地に出はじめ環境汚染や自動車公害が社会問題となり、開発のあおりを受けて絶滅の危機にあった野生動物保護の重要性が世論にのぼり、これら保護運動の第一線に動物園があるとの自覚が漸く萌しはじめた時期でありました。

野生動物の保護の重要性は子供の頃から正しく理解するのが必要と園をあげて小学生のためのサマースクールを開校し、動物たちの生態、動物園の仕事を通じて子供たちに学んでもらいました。早いもので今年で13回目となり益々内容を充実して実施しております。

チンパンジーの神ちゃんも昨秋結婚し一本立ちとなっており、友好都市天津動物園からタンチョウ、黒葉猿、レッサパンダ等が贈られており、カバの茶目子は14産等々と新しい顔ぶれや誕生が続いておりますがその反面着任前に他界した動物も多くあります。永年にわたって功績のあった動物たちのうち思い出されるのは、ギネスブックに登場したゴリラのザーク君、もうあの哲学的な風貌にも接することは出来ません。24頭もの子供を誕生させたマサイキリンのナガオ君、開園以来仲の良かったヒグマ夫婦のポバイとマミー、永い間市民に親しまれ、多くの人々の心に残った生前の姿はもう甦りません。

もの言はぬ彼等の功労は図り知れないものがあります。

われわれ動物園は自然界の貴重な財産を預るもの立場から常々自然の大切さ、生命の尊さを広く人々に呼びかけてゆく責務のあることを痛感しております。

(神戸市立王子動物園長)

表紙の写真説明

“ホッキョクグマ”

毎日暑い日が続く、北国(旭川市)生まれのユキオ君も、少々バテ気味、池の中でつかの間の涼を楽しんでいます。 “早く、涼しくならないかなあ” と言いたげな表情です。

(撮影：農本 武志)



“クロサイの赤ちゃん誕生”

7月21日、クロサイの赤ちゃん(オス)が生まれました。母親のサッチャンも昭和47年に当園で生まれた個体で、クロサイの動物園三世の誕生は日本では初めてのことです。

(撮影：宮下 実)

動物園グラフ

特集 “さて 何ができるかなあ”

今回は、サマースクールに参加する子供たちの教材用にと、OZV（大阪動物園ボランティアーズ）の6班のメンバーが中心となって、換毛したフタコブラクダの冬毛から教材を完成させるまでの、“汗と涙”の記録をご紹介します。（撮影：榊原 安昭、農本 武志）



① 換毛中のフタコブラクダ。



② 集めた冬毛の脂肪分を取るため煮沸します。



③ シャンプーでよく洗い、そしてリンスノをします。



④ きれいになるまでよく水洗します。



⑤ 乾燥した後ブラシをかけます。



⑥ 糸をつむぐのは大変むずかしい作業です。



⑦ やっと毛糸らしくなってきました。



⑧ 手編で何ができるのでしょうか。



⑨ はい完成！立派なボッシュットができました。

6・7月の動物園日記

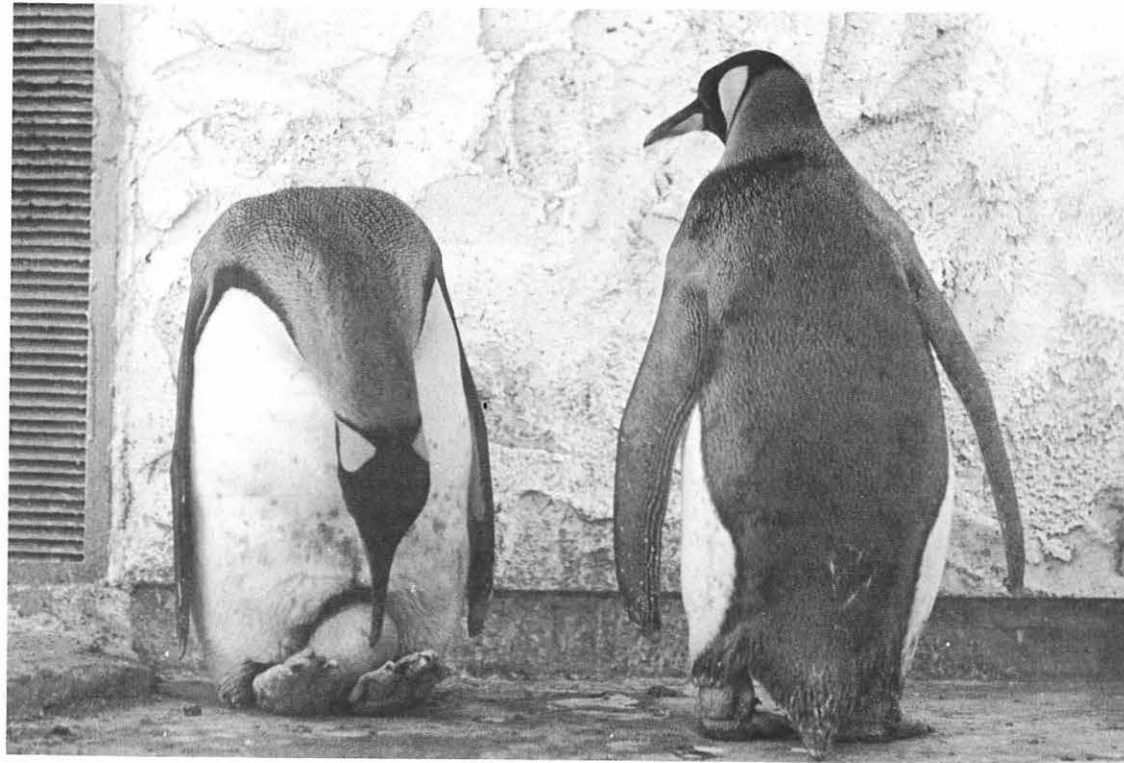
- 6 / 21. ニホンザルの子が1頭生まれました。本年3頭目のニホンザルの出産です。ブラックバックの雌が左前足を骨折したので治療を行ないました。
- 6 / 22. 本年4頭目のカリフォルニアアシカの子が生まれました。
- 6 / 23. カルガモを1羽保護しました。
- 6 / 24. ルリコンゴウインコを小鳥舎に展示しました。
- 6 / 26. 第2回ボランティアサマースクール研修会が行なわれました。

- 6 / 27. 6月2日生まれのカリフォルニアアシカの子が後足に咬傷を受けたので治療しました。
- 6 / 28. 本年4頭目のニホンザルが生まれました。
- 6 / 29. 雄のオグロワラビーが肺膿瘍で死亡しました。
- 6 / 30. 神戸市立王子動物園より繁殖のために1年6か月にわたりお借りしていたコウノトリの雌をお返ししました。
- 7 / 1. シマウマのレディー号の腹部の膨大が著しくなってきました。妊娠は確実のようです。
- 7 / 3. 第3回ボランティアサマースクール研修会が行なわれました。
- 7 / 4. 綿羊のサクソン・エクストラ・ファイン・

- 7 / 6. 本年5頭目のニホンザルが生まれました。
- 7 / 7. 検疫中のメリノ種2頭の毛刈りを実施しました。シマウマのレディー号の尿による妊娠鑑定を行なったところ陽性と出ました。キングペンギンが産卵しました。
- 7 / 8. キーウィの雄のニュージー君にも人工餌を与えることにしました。本年産カリフォルニアアシカの子3頭の体重測定を行ないました。
- 7 / 9. 2羽のイワトビペンギンが換羽中です。

- 7 / 10. マントヒビの子が1頭生まれました。
- 7 / 11. 昨日保護し元気回復したカワラヒワを放鳥しました。
- 7 / 12. カワウソが出血性腸炎で死亡しました。綿羊のメリノ種2頭の検疫が終了しました。
- 7 / 14. 本年生まれの3頭のタヌキにワクチン接種を行ないました。
- 7 / 15. 本年2頭目のニホンジカの子が生まれました。
- 7 / 16. 昨日に続き、ニホンジカの子が生まれました。
- 7 / 18. キジ舎、小鳥舎のネズミ退治を行いました。

キングペンギン



卵を包もうとしている親

§ はじめに

1羽のキングペンギンがお腹を大きくふくらませて立っています。

「お母さん、あのペンギン、おなかふくらんでるね。」

「そうね、病気なのかしらね。」

「かわいそうやね。」

そこへ私、「あのペンギンは病気じゃなくて、卵を暖めているところですよ。実はね……。」と説明をはじめました。

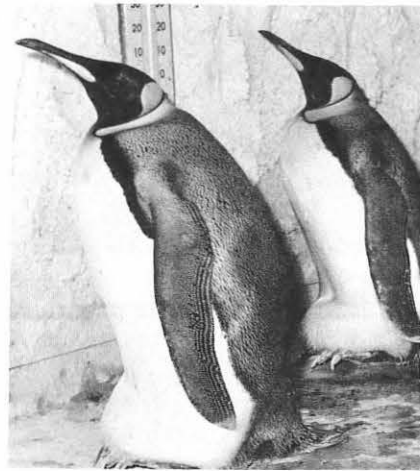
説明を聞いたお母さんもお子さんも奇妙なキングペンギンの抱卵習性にすっかり感心しておられました。

§ 立って卵を暖めるキングペンギン

世界中には約8600種もの鳥類が生息しています。その中には自分で卵を暖めずに他の鳥にやらせるものや、地面に埋めて地熱で卵をかえすものなど様々な変りものの鳥がありますが、このキングペンギンのように立ったまま卵を抱く鳥もまた変りもののひとつでしょう。

キングペンギンを取って食べる動物にはヒョウアザラシやシャチなどがいますが、それとて天敵という程恐ろしいものではありません。それより羽や脂

肪をねらって大量にペンギンを殺した人類の方がもっとおそろしい敵です。ですが人類を除くと成長したペンギンにはそんなに危険な動物はいません。ペンギンが最もね



卵を暖めるキングペンギン

らわれ易いのは卵とヒナの時期です。サヤハシチドリ、オオフルマカモメといった南極附近に住む海鳥たちにとってペンギンのヒナや卵は重要な食料源ですから、いつもすきあらばと狙っていて、他のペンギンの被害は相当なものです。そこでこのキングペンギンの抱卵方法が有効になってきます。すなわち、オスもメスも産卵が近づくと下腹部の皮を大きくたるませることができるようになり

ます。そしてメスが卵を産むのを待っていたオスは卵が生まれるとすぐ足の上に卵を乗せ、かねて準備のたるませた皮ですっぽりと卵を包みます。卵を包む部分は抱卵斑と呼ばれ羽毛が生えておらず皮膚が裸出していますから親の体温が直に卵を暖めます。こうして文字通り肌身離さず暖めること50数日、両親の苦労の結晶がうぶ声をあげるといわけです。ヒナの間も体がある程度の大きさになるまで両親の足の上で育てられます。



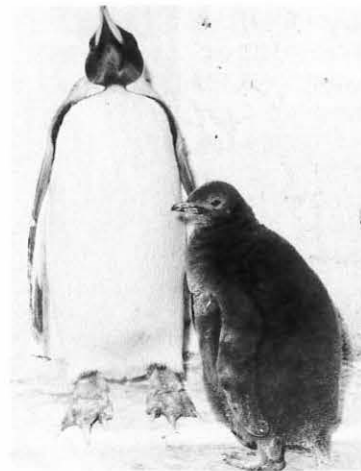
親の足の上でエサをねだるヒナ

これだけ親がガッチリとガードを固めていると南極のギャング達もなかなか手が出せません。これが弱いヒナや卵を守るため、キングペンギンが考え出した立って卵を暖める習性の理由だと思えます。それにしても奇妙な習性を考え出したものです。

こうやって親の熱心な保護のもとでヒナは育てられるものの一羽のキングペンギンが成長するにはまだまだ様々な困難が待ち受けています。

§ 厳しい冬

キングペンギンの産卵は南極の夏、12月から2月頃に行なわれます。キングペンギンは18種あるペンギンの中でも2番目に大きなペンギンですが、その卵も大きく長径11cm、短径8cm、重



綿羽に包まれたヒナ

さは330gもあります。ニワトリの7倍近い重さです。この卵を両親は4、5日おきに交代しながら肌身離さず暖めます。

ヒナは早いものでは1月中旬に誕生します。この頃、キングペンギンの住む南極大陸周辺の島々では短い夏の真盛りで、海にはオキアミや魚などペンギンのエサがウヨウヨと集まっています。両親は交代で海に入りおなか一杯にエサを食べせせとヒナに運びます。この時期のヒナの成長は驚くほどの速さで、フ化後100日目頃には体重は10~12kgにもなります。親の体重が15kg位ですから生れてたったの3カ月程で親の体重の80%にも達するのです。

ここまでは順調ですがこれからヒナの苦難が始まります。

親の体重の80%にも達したヒナですが、この頃にはもう短い夏は終りを告げ、厳しい冬が訪れます。親達はヒナを一カ所に集め、共同保育所といったものを作ります。そして自分達は少なくなったエサを求めて海へ戻ります。時々にはヒナにエサを与えるために共同保育所へ帰っては来ますが、それは2週間に1回程度です。マイナス40℃、時には時速100kmを越える猛烈なブリザードが吹き荒れる極南の地でヒナ達は体を寄せ合って飢えに耐えながら2週間に1回の親の来訪をじっと待ちます。この間体重はドンドン減少して行きます。日本とは比べようもない厳しい寒さの中、仲間がいるとはいうものの、若いヒナがおなかをすかせて親を待つ辛さはどんなものでしょうか。

こうして再びエサの豊富な夏が巡って来るまでの数カ月、ヒナは耐えます。12kgもあった体重は約8kgにまで減少します。冬を迎えるまでに体重が十分増えなかった小さなヒナ達は冬の寒さと飢えに耐え



3カ月もすればこんなに大きくなります。

られず死んでゆきます。

11月になるとエサの豊かな夏が再び巡って来ます。厳しい冬を乗り切ったヒナ達はヒナ毛が抜け立派な成鳥の羽が生えてきます。共同保育所は解散され、エサを求めヒナ達は南極の海に向います。

(長瀬健二郎：飼育課 獣医師)

天王寺の歴史をさぐる③

外国との動物往来(1)

開園以来68年をこえる天王寺動物園には外国の動物園との動物交換の実績も数多く、今までに14カ国もの国々と親善動物の往来がありました。件数にして37件、当園に贈っていただいた動物は49種類にもなります。今回はこの開園以来の動物交換の内容をご紹介します。

§ 戦前

昭和3年6月、台湾の台北市立動物園より水牛を

いただいています。頭数、性別は不明ですが、これが外国の動物園



当時の新聞記事(大阪朝日)

との動物往来第1号と思われます。

続いてタイの少年団よりアジアゾウ1頭が昭和10



当時の新聞記事(大阪朝日)

年6月4日に贈られてきています。ランプと名付けられたこのゾウは戦時下の昭和17年1月、飼料不足から残念ながら死亡しました。

昭和12年5月29日、オーストラリアのシドニー市タロンガ動物園からアカカンガルー、ウォンバット、ボッサム、フクロネコが各一つがずつ贈られて来ました。



当時の新聞記事(大阪朝日)

この4種類の動物はどれも当園に初めてお見えした珍しい有袋類で、当園からは先にトビやヤマムスメなどを贈っています。

戦前の外国との動物往来はこの3件だけです。

§ 戦後～昭和43年

戦後しばらくは外国との動物交流はありませんで

した。しかしその間も動物業者を通じて外国の珍しい動物はいろいろと入ってきていました。

昭和38年、日韓親善を記念して韓国のソウル動物園と動物交換を行いました。日本在来馬であるトカラウマのオス1頭を7月に贈り、ソウル動物園からは



チョウセンハゲワシ1羽が同年9月に贈られてきました。このハゲワシは昭和54年に死亡するまで16年間、猛きん舎でその勇姿を楽しませてくれました。



ソウル動物園とは昭和43年にも第2回目の動物交換を行っています。この時にはソウル動物園からチョウセンオオカミ(メス)1頭とワシミミズク1羽が3月に贈られてきました。チョウセンオオカミはその5年後に贈られてきたオスとの間に2回仔をもうけましたが、いずれもうまく育ちませんでした。

昭和54年6月に老衰のため死亡しましたが、子孫が残せなかったことがかえすがえすも残念です。ワシミミズクは1羽だけだったため、7年後のソウル動物園との4回目の動物交換の際にさらに4羽を贈っていただき、5羽のヒナが誕生生育しています。なお当園からはニホンザル4頭とニホンキジ4羽を贈っています。

昭和39年、大阪市の姉妹都市であるサンフランシスコ市とその友好を記念して親善動物交換が行われました。当園からは10月にニホンシカ2頭を贈り、サンフランシスコ動物園からは12月にリカオン4頭



ワシミミズク

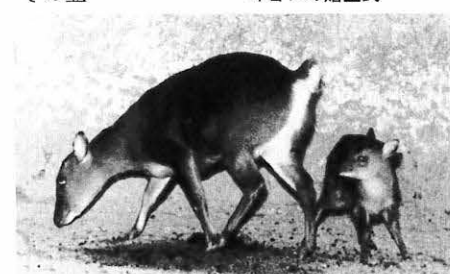


リカオン

野動物園に続く日本で2番目のお目見えでした。これらの4頭は残念ながら繁殖もせず、昭和50年9月までにフィリリア症や肝臓癌などで亡くなりました。

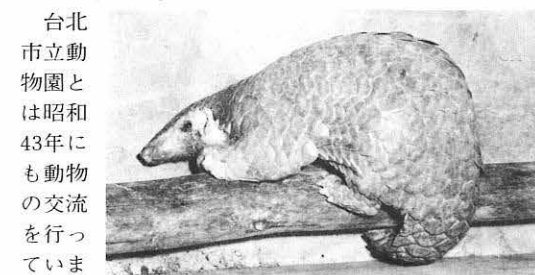


キョンの贈呈式



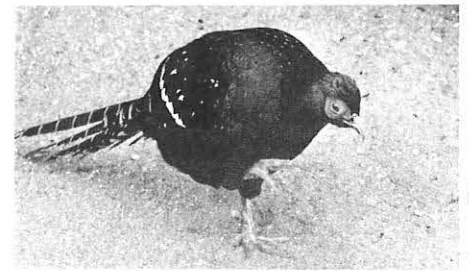
キョンの母仔

年の昭和41年4月にキヨン一つがいが贈られてきました。このペアはその後3年間に3頭の仔をもうけ、以後その子孫が続いています。現在、収容数は10頭と過去最高になりましたが、毎年2、3頭誕生しておりまだ数はふえそうです。



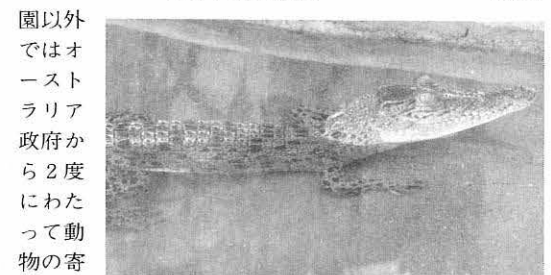
センザンコウ

台北市立動物園とは昭和43年にも動物の交流を行っています。戦前から数えれば3回目の動物交流です。当園からはアナグマ一つがい、コプハクチョウ2羽を贈り、台北市立動物園からはセンザンコウとミカドキジ各一つがいが贈られてきました。センザンコウは全身硬いウロコにつつまれた珍しい動物ですが、飼育下での餌がなかなかむずかしく長生きさせることはでき



ミカドキジのオス

ませんでした。ミカドキジは3羽のヒナが誕生しています。動物



ニューギニアクロコダイル



アカキノポリカンガルーの贈呈式

けました。昭和39年4月にニューギニアクロコダイルを1頭、昭和42

年3月にはアカキノポリカンガルーのオス1頭が贈られてきたものです。

クロコダイルは当園で13年間飼育されましたがキノポリカンガルーの方は短命で終わりました。キノポリカンガルーは大阪でオーストラリアの貿易展示会が開かれたのを記念して贈られたもので、その当時当園にはクロキノポリカンガルーとゴマシオキノポリカンガルーが収容されており、世界でも珍しいキノポリカンガルーが3種類そろいました。



飼育詰所前につながれたアカキノポリカンガルー

(つづく)
(飼育課：宮下 実)

私が望む動物園

島本直之

動物園での7年間の生活は、私にとって人生の大きなステップになると思えるほど貴重な期間でした。私は事務職として動物園で7年間仕事をしてきたのですが、私を感じる動物園の雰囲気や内容、どういう風な動物園にしていきたいかというのは、色々違った物の見方をしていると思います。7年間動物園で仕事をして、私の感じた動物園、そして今後期待する動物園を述べてみたいと思います。

私は入園者に対する公共サービスを飼育に携わる職員とは違う角度から考え、入園者から見た動物園の捉え方を重点に置いた考え方をしたいと思います。これは、もちろん一般市民のニーズがどのようなものであるかをまず把握することが必要です。動物園のニーズをどのようにとらえるかは、

平日頃の入園者の行動に目を向けわずかな反応をも鋭く観察する姿勢がなければなりません。そのような観察力を身につけるために、私は自分自身が入園者となって、動物園を客観的な立場から見ることを行なう必要があると思



たのです。つまり広範囲な視野を持って、第三者的に動物園を見る必要があるのです。その第一歩として他の動物園を訪れることが、一番良いのではないかと思います。私は、それを実行し始めたのが、動物園に勤めてから2年目に入ってからでした。7年間で約20ぐらいの動物園を訪れたと思います。その他にも動物園のような施設、例えば博物館、水族館、植物園なども訪れました。その訪れた動物園の特徴や入園者に対するサービスを見ることによって当園と比較し、共通性や特質性を拾い上げていきました。それらのデータを元にして、当園が現在以上に入園者の望む動物園になっていくことを期待しました。そして、今までの経験を踏まえて、動物園をよりすばらしいものにするために、以下の所見を述べてみます。

まず、教育部門の充実です。とかく動物園は、レクリエーションとか憩いの場所ととらえられがちですが、実際は教育施設としての比重は大きいものがあります。子供達の情操教育を養う上で、欠かせな

いものであります。現在園には、教育をほどこす施設は無く、設置されることが今後望まれます。次に動物園情報の充実です。当園は、大きな行事については、新聞、ラジオ、公報などでPRを行っているのですが、実際日頃の動物園の活動は、入園者に十分伝わっていない部分が多いようです。これを少しでも解消するためには、各入口に情報板を設置し、動物園の最新ニュースを少なくとも入園者には、知っていただくようにしなければならぬと思います。第三に、動物舎の見直し・改善が必要です。動物舎の設計を工夫することは、動物を飼育するのに適した状態にするだけでなく、展示動物をいかに入園者に見てもらおうかということに重点を置くべきです。さらに、入園者の年齢を問わず体格を問わず誰もが見学するのに不自由を感じないようにするにはなりません。当園も改善されるべき個所はいくつかあります。

第四に動物園独自の話題を豊富にすることです。これは、総合的な広い視野に立って永続性のあるものが理想です。しかし実際上、短期的な話題で終り、忘れられることが多く長続きはしません。話題を作るということは、当然入園者が増し、教育や情報などの課題に少しでも目を向けるということになるのです。

そして最後に、動物園管理施設の充実が必要です。これは、便所、案内所、休憩所などの充実を意味するのですが、実際動物園は季節によって入園者数に開きがあるため基準が置きにくいのが現状です。このことは、施設の数だけが問題となるのではなく、清潔で明るく使い易いものを所要所に周囲の景観を損ねないように設置することです。

以上の事柄は、動物園を運営し、入園者に快適に過ごしてもらうためには、今後取り組まなければならないことです。そして、これらの取り組みが実現できれば、現在以上にすばらしい動物園になると確信しております。

長い間、動物園の職員の皆様に公私ともにお付き合いさせていただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。(前天王寺動物園管理課職員 現浅香老人福祉センター職員)

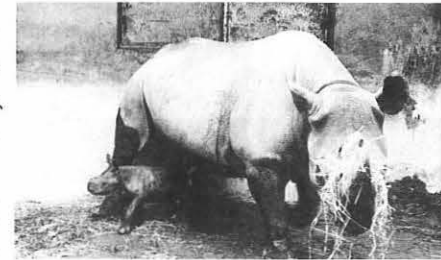
動物園ニュース

§ クロサイの赤ちゃん誕生!!

7月21日の夕方、クロサイの赤ちゃんが生まれました。当園でのクロサイの出産は、今回出産した雌の“サッチャン”が1972年2月1日に生まれて以来11年ぶりのことです。

クロサイは野生下では非常に減少しており、厳重に保護されています。動物園でもあまり飼われておらず、現在日本では4つの動物園に飼われているだけです。

今回出産した母親は、当園で生まれたもので、父親もロサンゼルス動物園で、1975年6月に生まれたものです。飼育下での三世誕生ということになります。これは日本の動物園では初めての事です。



出産は非常に安産で、午後4時すぎに出産が始まり、約30分で無事生まれました。初産で心配されましたが、約1時間30分後には哺乳も確認されました。現在、母子共に寝室に収容していますが、この“なきごえ”が発行される頃には、一般に公開されかわいの子供の姿を御覧いただけることでしょう。

§ メンヨウ2頭来園

オーストラリアのタスマニア州のローンセストン市から、サクソン・エクストラ・ファイン・メリノー種というメンヨウ2頭が来園しました。

これは、昨年6月22日にローンセストン市のウォーカー市長とタスマニア牧羊業者協会のマッキューアン会長一行が来阪され、大阪市長を表敬訪問された際に、

プレゼントを約束されたものです。このメンヨウから取れる羊毛は世界一の品質といわれており、繊維の



現在の飼育動物数

(1983年6月30日現在)

哺乳類	8目	99種	374点
鳥類	20目	201種	712点
爬虫類	3目	39種	91点
計	31目	339種	1,177点

太さは16ミクロンと普通のものより細く、白さ、光沢などもすぐれています。

なお、このメンヨウの輸送には藤井毛織株式会社の御協力を得ました。

§ ワライカワセミの交換

千葉県にある行川アイランドより、「飼育しているワライカワセミがすべて雄なので、雌と交換してほしい」という申し出があり、当園でも雌が多いことから交換の話がまとまりました。行川アイランドから7月14日に雄のワライカワセミが到着し、18日には当園の雌を送りました。現在、見合中で同居にはしばらくかかるかもしれませんが、来春の繁殖は十分期待できるでしょう。



§ まだまだ続くベビーラッシュ

今年、例年より繁殖する動物が多く、クロサイ以外にもまだ次々と、かわいい赤ちゃんが生まれています。

ニホンザルの赤ちゃんが、6月28日、7月6日と生まれています。これで今年合計5頭が生まれ、オス3頭、メス1頭が育っています。これでニホンザルの群は28頭となりました。

また、サルアパートではマントヒヒの赤ちゃんが生まれています。現在、母子を隔離していますのでかわいい赤ちゃんの姿は御覧いただけませんが、オスの赤ちゃんは元気に育っています。

今後、誕生が期待できるものには、7月7日に産卵し、雌雄交代で抱卵しているキングペンギンがあります。昨年は途中で破卵してしまいましたが、有精卵が得られていますので、うまくゆけば9月初めにはふ化することでしょう。

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。10月までの休園日は下記の通りです。
8月15日(月)、9月19日(月)、10月17日(月)、
開園時間は午前9時30分～午後5時で、午後4時に切符売止めになります。

すてき満喫

近鉄クレジットカード



- 全国の近鉄百貨店グループ・都ホテチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただくだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 年会資格は20歳以上で2年以上お勤めまたは自営の方です。

近鉄百貨店

お申込み・お問合せは各店クレジットセンター
アベノ店・上本町店・東大阪店・奈良店・西京都店・東京店

近鉄百貨店グループ

四日市近鉄・京都近鉄・岐阜近鉄・枚方近鉄・和歌山近鉄・近鉄松下(徳山)・別府近鉄・三交百貨店(松阪・伊勢)・近鉄東海ストア

ひかりのくに

監修・阪口浩平
指導・宮武頼夫

オールカラー

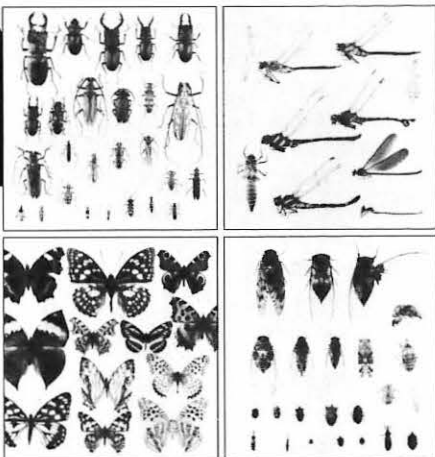
むし

くらしとかいかた

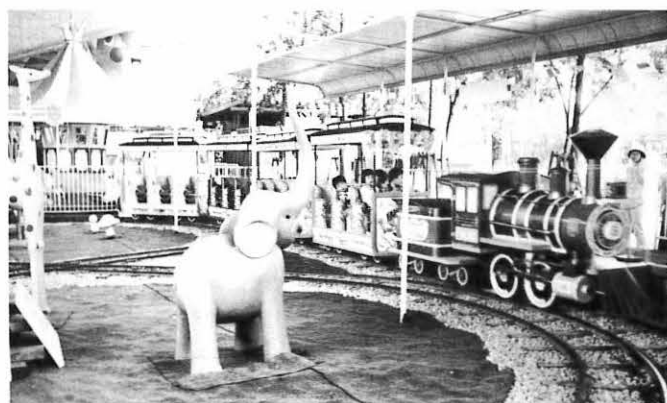
今まで、気にもとめなかった自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きっとすばらしいことに出会えるはずだ。

580円

ひかりのくに株式会社
〒543-8501 大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

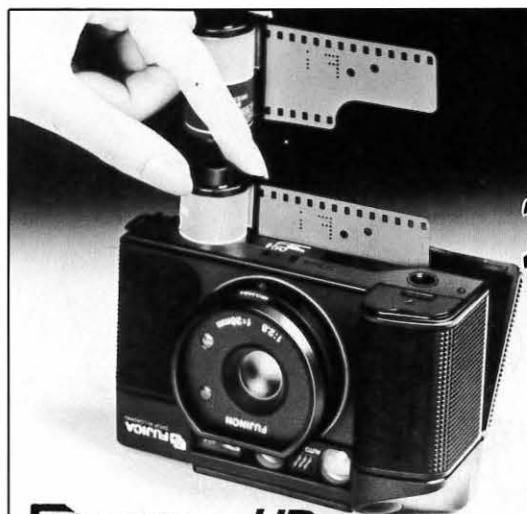
天王寺動物園の機関紙

月刊 **なきごえ**

ご購入をお奨めします。

年間購読料 1,100円 (含、郵送料)

お申し込みは、**大阪市天王寺動物園協会**へ
TEL 06-771-0201



フィルムポン!

世界で初めて「ドロップイン機構」を塔載！
フィルム装てんが新しくなった—フジカ
オートエース&オートメイト新登場！

フジカラーHR

—FUJICA—
オートエース
DL-100 DATE
標準価格49,800円

カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

◎ 動物のことなら あらゆることにお役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろ)
- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写真会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

自然から学ぶおもいやり

株式
会社

アニマ

(いきもの110ばん)

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

全国の愛犬家の共感を呼ぶ
無比の愛犬歌集

歌集 犬の歌

動物文学会主宰
平岩米吉著
(天金美装・箱入
B 6判・270頁
2500円・〒不要
(直接申込をう)

著者が、約40年の間に、共に暮した70余頭の
犬の生と死を歌った419首を収録。同時に、そ
の誕生より老齢に至る写真47図を収め、犬の
一生の生態写真集でもある。

動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

日本図書館協会選定
全国学校図書館選定

狼

その生態と歴史
犬科生態研究所長
平岩米吉著

A 5判・320頁・
口絵挿絵等140図
定価2800円・〒300円

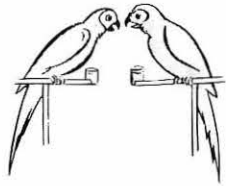
待望の日本狼の正史ついに完成!

☆犬科動物の研究者として、当代随一の著
者が、数十年にわたり収集した正確な資
料を、生態学の目をもって描いた空前の書。
☆日本狼は、大口の真神とあがめられた古
代より、のちには病狼と恐れられ、やが
て絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

- | | |
|------------|-----------|
| 序 狼への幻想と現実 | 5 狼の伝説 |
| 1 犬科の分類と解説 | 6 日本狼の特徴 |
| 2 犬と狼の関係 | 7 日本狼の絶滅 |
| 3 日本狼の歴史 | 終 狼を飼った人々 |
| 4 狼狩の記録 | |

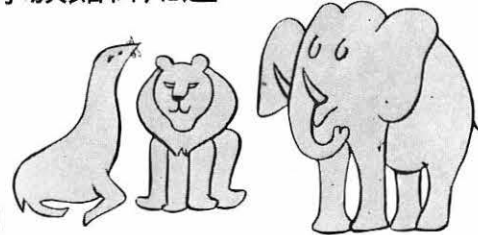
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地
振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

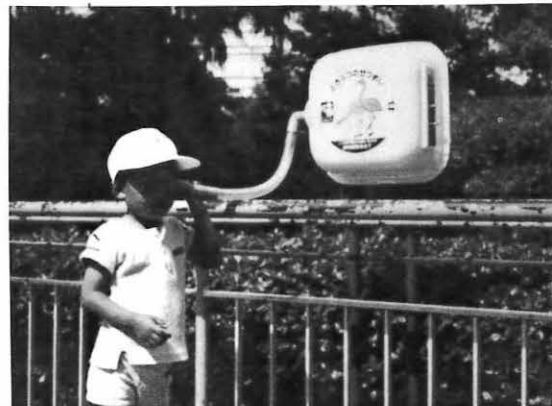
- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの) 郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヶ所にあります

1回 20円

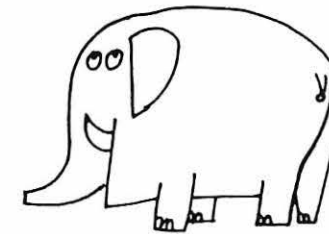
……………ぼっちゃん
……おじょうちゃん
どうぶつえんへ……………
いらっしゃいませ……
ごきゅうけいは……………
おしょくじは……………



動物園内北園 中央売店

☎ (06) 771-0973

天王寺動物園内



南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願ひ致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円
撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ

自然の
おいしさ



雪印ヨーグルト

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

なきごえ 昭和58年8月15日発行(毎月1回15日発行)

第19巻 第8号 (通巻216号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

電話 大阪 (06) 771-0201

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

振替口座 大阪 37823

1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員 (土井 良彦・伊東 重朗・小出 雅三・樽本 勲・中川 哲男・前田 豊彦)
(宮下 実・長瀬健二郎・榊原 安昭・森本 委利・大野 尊信・葭谷 文彦)
(農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・柴田 総・兼坂 雅浩・堀 弘)